

東京国立博物館ニュース

展示と催し物案内 [第707号]

2011
6-7

2・3 特別展「予告」**「空海と密教美術」展** 4 特別展**「手塚治虫のブツダ展」**

5 特別展「予告」**「法然と親鸞 ゆかりの名宝」**

6 特集陳列**平成22年度新収品展** 7 親と子のギャラリー**博物館できもだめし**

8・11 総合文化展 見どころ案内 2011年6月・7月 **日本美術の流れ／特集陳列「和鐘——鐘に表された文様の雅」**

シリーズ古写真「江戸の残照 変貌する明治日本」／特集陳列「よみがえるヤマトの王墓——東大寺山王墳と謎の鉄刀」ほか

12・13 みどりのライオン 教育普及事業「講演会／盲学校のためのスクールプログラムほか」東洋館リニョールオープンへの道

14 INFORMATION 15 TOPICS 16 2011年6月・7月の展示・催し物



特別展「予告」

空海と密教美術展

7月20日(水)―9月25日(日) 平成館



99点の展示作品のうち98点が国宝が重要文化財という夢の展覧会。
すべてが必見! の展覧会ですが、その中から選びに選んだ見どころを
仏像、絵画、書、工芸のジャンルごとに紹介します。

仏像

空海が祈りをささげた仏たち

教王護国寺(東寺)の講堂諸像は、この展覧会で最も注目していただいた作品です。二十一体の中から、五菩薩・五大明王・四天王がそれぞれ二体、それに梵天和帝釈天の八体が出品されます。菩薩や梵天の精悍な顔、筋肉質な身体表現は、曼荼羅のエキゾチックな身体表現を取り入れたものです。多くの顔・目・腕・足を有する明王の奇

怪な姿には、密教らしさを感じます。奈良時代を通じて増してきた四天王の怒りは、ここで頂点に達しました。日本で最も恐ろしい表情の四天王です。それらは空海の指導の下に造られたのでした。

密教正系の証で、白檀に緻密な彫刻で表されます。

空海の息吹の残る時代の作品も出品されます。神護寺の五大虚空蔵菩薩像(うち二体)や、仁和寺の阿弥陀如来および両脇侍像、醍醐寺の薬師如来および両脇侍像は、空海の弟子や孫弟子が造像に関わった作品です。(丸山士郎)



- ①●持国天立像(四天王のうち)
平安時代・承和6年(839) 京都・東寺蔵
立体曼荼羅を構成する21体のうちの1体。
この像を含む8体が上野にお出ましに
- ②●五大虚空蔵菩薩像 京都・神護寺蔵
神護寺は空海が密教宣布の最初の拠点とした寺です

書

空海のスケールの大きさを感じて

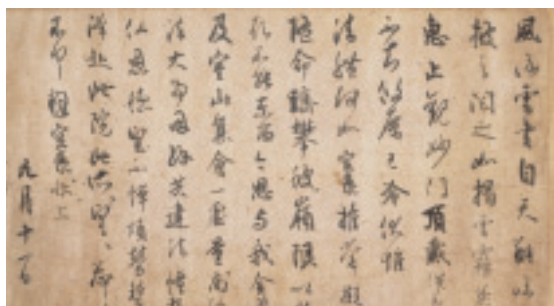
空海の書の見どころは、何と言っても天性の才と謳われた表現力の豊かさにあります。遣唐使派遣の最大の目的は、最新の文化・技術・知識を中国・唐から輸入することでした。しかし他の僧侶たちと空海が違ったのは、入唐前から書に対して並々ならぬ情熱を抱いていたことです。そのことは「聾瞽指帰」と呼ばれる空海の著作「三教指帰」の自筆草稿本からもうかがえます。儒教・道教に対する仏教の優位を説いた戯曲風の作品は、見る者に類まれなる文才と書法も含めた表現力の豊かさを感ぜさせます。帰国後、空海は日本に密教を広めることになりましたが、その

声望の高さを今に伝えているものが、自身が高雄山寺(現神護寺)において弘仁三年・四年に三度にわたって行なった金剛界・胎藏界の結縁灌頂の受者名簿である「灌頂歴名」です。そこには空海と並んで日本仏教を代表する最澄の名も見られます。その空海と最澄の親交の姿がわかるものに「風信帖」があります。本展覧会では空海自筆の書五件が、すべて巻頭から巻末まで展示されます。書聖と称された空海の自由奔放でスケールの大きな書作品を、その生涯になぞらえてご覧いただき、展示室でその人となりに触れていただければ幸いです。(高梨真行)

- ③●聾瞽指帰 空海筆 平安時代・8～9世紀 和歌山・金剛峯寺蔵
さまざまな書法を駆使した空海の筆致を堪能してください(上巻7月20日～8月21日、下巻8月23日～9月25日展示)
- ④●風信帖 空海筆 平安時代・9世紀 京都・東寺蔵
日本の仏教を代表する二人の親交の姿を今に伝えています(8月23日～9月25日展示)



巻頭



第一通

関連事業

記念講演会

- ① 7月24日(日)13:30～15:00
「密教美術の醍醐味」
松本伸之(東京国立博物館学芸企画部長)
- ② 7月31日(日)13:00～15:30
「弘法大師と仁和寺——阿弥陀仏について——」
大西智城(総本山仁和寺執行・真言宗御室派財務部長)
「神護寺創成期の歴史——弘法大師空海と伝教大師最澄の交友と訣別——」
谷内弘照(高野山真言宗遺迹本山神護寺貫主)
- ③ 8月27日(土)13:30～15:00
「心の中に息づく祈り——弘法大師空海——」
仲田順和(総本山醍醐寺座主・真言宗醍醐派管長)
- ④ 8月28日(日)13:00～15:30
「吉野・高野の道」
村上保壽(総本山金剛峯寺執行・高野山真言宗教学部長)
「空海大師と讃岐——御誕生所善通寺の歴史と寺宝——」
坂田知應(総本山善通寺執行・真言宗善通寺派財務部長)

会場:平成館大講堂

定員:各回380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要)

申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・聴講を希望する講演会の番号(①②③④のうちいずれか)と日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

- *1枚のはがきで、1つの講演会につき最大2名の申込可。
2名の場合は、それぞれの氏名を必ず明記してください。
* ①7月12日(火)頃 ②7月20日(水)頃 ③④8月16日(火)頃に「返信はがき」発送予定。

申込先:〒106-8611 東京都港区西麻布2-25-18 麻布パレスビル(ユース・プランニング センター内)

特別展「空海と密教美術展」広報事務局講演会(記念講演会①、記念講演会②、記念講演会③、記念講演会④)係
申込締切:①6月30日(木)、②7月7日(木)、③④8月4日(木)必着

連続講座

3日間連続で受講していただく講座です。

スケジュール

- 8月4日(木)
「弘法大師の生涯と思想」13:00～14:30
村上保壽(総本山金剛峯寺執行・高野山真言宗教学部長)
「密教の絵画」14:45～16:15
沖松健次郎(東京国立博物館特別展室主任研究員)
- 8月5日(金)
「密教と工芸」13:00～14:30
伊藤信二(東京国立博物館教育普及室長)
「空海と日本の書」14:45～16:15
島谷弘幸(東京国立博物館副館長)
- 8月6日(土)
「弘法大師空海と東寺の文化財」13:00～14:30
新見康子(総本山教王護国寺(東寺)文化財保護課長)
「東寺講堂の立体曼荼羅」14:45～16:15
丸山士郎(東京国立博物館教育講座室長)

会場:平成館大講堂

定員:380名(事前申込制、応募多数の場合抽選)
聴講無料(ただし、本展覧会の観覧券が必要。半券でも可、その場合は別途入館料が必要。会場受付時に、連続講座期間中無料で入館できる受講券をお渡しします。翌日以降はそれが入館できます。なお、受講券では特別展は入場できません)
申込方法:往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

*1枚のはがきで1名の応募となります。

申込先:〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育講座室「連続講座」係
申込締切:7月11日(月)必着

絵画

弘法大師像ベスト3から巨大な曼荼羅まで

空海の人物像の紹介となる第一章の見どころは空海の肖像画です。現存する絹絵の「弘法大師像」のベスト3といえる金剛寺、龍泉院、西新井大師總持寺所蔵の三点が出品されます。

唐での空海の密教の受法と活動の軌跡をご覧いただく第二章の見どころは、空海が唐から持ち帰った品々の公式リスト(御請来目録)に記載されたものに一致する品々です。絵画では「真言七祖像」があげられます。七人の

祖師像のうち二人の像は日本に加えられたものですが、五人の像は唐の宮廷画家・李真等の作とされるもので、現存する唐代絵画としてもとても貴重なものです。

神護寺・高野山・東寺を中心とした

日本での密教流布の活動を伝える第三章では、密教絵画の根本といえる、両界曼荼羅の現存最古の作例で、金銀泥で描かれた「両界曼荼羅図(高雄曼荼羅)」と、その図像の系統を受け継ぎ、平清盛が制作に関わったとの伝承をもつ「血曼荼羅」が見どころです。いずれも縦四メートルを超す巨大な画面はまさに圧巻です。

空海の息吹がまだ色濃く残る時代は、千二百年以上を経て今なお鮮麗な彩色を留める、「西院曼荼羅」が見どころです。彩色の両界曼荼羅としては最古の作例です。(沖松健次郎)



⑤●「真言七祖像」のうち不空像 李真等筆 唐時代・9世紀 京都・東寺蔵
空海の帰国に際し、師の恵果和尚より贈られたと伝えられるもの

⑥●「弘法大師像」 鎌倉時代・13世紀 東京・西新井大師總持寺蔵
空海の肖像画で、右手には五鈷杵、左手に数珠を持つ姿が最も流布している

「空海と密教美術」展

7月20日(水)～9月25日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、読売新聞社、NHK、NHKプロモーション

特別協力:総本山仁和寺、総本山醍醐寺、総本山金剛峯寺、総本山教王護国寺(東寺)、総本山善通寺、遺迹本山神護寺

協力:真言宗各派総大本山会、南海電気鉄道

協賛:あいおいニッセイ同和損保、きんでん、大日本印刷、トヨタ自動車、非破壊検査

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料 *障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。*作品の一部に展示替えがあります。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600 展覧会ホームページ: <http://kukai2011.jp/>

工芸

空海が唐から持ち帰った霊宝

空海は、唐より真言密教とともにさまざまな仏具類を持ち帰っています。その中で最も濃密に密教の特色を示すものが、各種の金属製の密教法具です。

密教の実践的な信仰儀礼(修法)では修法壇をしつらえ、その壇上に多種多様な法具や供養具を配置して道場を荘厳します。使用される法具は、形状や種類がバラエティにとみ、その配置構成や使用法も儀軌によって厳密に規定されていました。とくに空海の請来した密教法具は、唐の様式をダイレク

トに伝え、特異性・初発性において、一つの規範となり、その様式は「請来」と呼ばれるまでになりました。

密教法具以外でも、仏画や仏典、法衣など空海の請来した品々は、はやくから「霊宝」として特別に位置づけられ、それらを納める箱や荘厳する道具などにも、当時の最高技術がそがれました。空海の請来品は当時の工芸の世界にとっても、きわめて大きな画期をもたらしたのです。(伊藤信二)



⑦●密教法具 唐時代・9世紀 京都・東寺蔵
空海が師の恵果より授けられたと伝える密教法具のセット

⑧●宝相華迦陵頻伽時絵冊子箱 平安時代・10世紀 京都・仁和寺蔵
空海が唐で書写した密教の法典「三十帖冊子」を納めるため、醍醐天皇より下賜されたもの(7月20日～8月21日展示)



特別展

手塚治虫の ブツダ展

4月26日(火) — 6月26日(日) 本館特別5室

手塚治虫の代表作「ブツダ」の原画とほんものの仏像で、
釈迦の生涯をたどる今までにない展覧会。

今回は、特別に出品された仏像たちに焦点をあててみましょう。



『手塚治虫漫画全集
ブツダ』11巻表紙絵より
©手塚プロダクション

誕生

仏像に見る釈尊の生涯



①

①〈ブツダの誕生〉誕生仏立像 鎌倉時代・13世紀 京都・大報恩寺蔵

天と地を指した姿が印象的な金銅仏の佳品

②〈苦悩するブツダ〉○菩薩半跏思惟像 飛鳥時代・7世紀

片足を組み、右手を頬に添えた金色の美しい菩薩像

③〈説法するブツダ〉仏伝図「初転法輪」バキスタン・ガンダーラ クシャーン朝・2〜3世紀

山梨・平山郁夫シルクロード美術館蔵

執金剛神、釈尊、聴聞衆を表わしたガンダーラの秀作

④〈神々しい姿〉○伝釈迦仏像 飛鳥時代・7世紀 東京・深大寺蔵

釈尊の神々しい姿を巧みに表現した白鳳仏の代表作

ブツダ(仏陀)、つまり釈尊(お釈迦様)の生涯は、いたるところ奇跡的な光景で彩られています。そのため、釈尊の事績の主要なものは、仏教文化圏の各地で古くから盛んに造形化され、大いに信仰を集めてきました。

釈尊の事績の中で、まず注目されるのは、生誕の場面です。母マヤーの右脇下から生まれると直ちに七歩あるいて天と地を指さし、「天上天下、唯我独尊」(この世

苦悩



②

で私一人が尊い)と言ったという有名な光景で、それを表現したのが、いわゆる誕生仏です。今回展示する誕生仏(写真①)は、類品の中でも大ぶりになり、鎌倉時代の作例として特筆されます。

釈尊の苦悩する姿をモデルとした半跏思惟像も、中国や朝鮮、日本で多大な信仰を得てきました。ここに

掲載した法隆寺献納宝物中の一点(写真②)は、鮮やかな金色の中に卓越した作風を示す古代金銅仏の優品の一つです。また、釈尊が悟りを開き、ブツダ(目覚めた者)になってはじめて説法を行なった情景(初転法輪)は、仏教の始まりを告げる記念碑的

説法



③

な場面として、ことにガンダーラで盛んに制作されました(写真③)。

こうした仏伝に関わる遺品のほかに、釈尊の神々しい姿を表現した作品(写真④)もあります。生氣あふれる潑刺とした造形の中に、釈尊の神性も見事に表現した傑作です。

地域や時代を超えて集結した釈尊像の多彩な姿を、じっくり鑑賞ください。(松本伸之)

特別展「手塚治虫のブツダ展」

4月26日(火)〜6月26日(日) 本館特別5室

開館時間:5月1日(日)以降 9:30〜17:00

(入館は閉館の30分前まで。土・日・祝日は18:00まで) *金曜日の夜間開館は行ないません

主催:東京国立博物館、東映、TBS 後援:文化庁、読売新聞社 協力:手塚プロダクション、日本通運、(財)全日本仏教会、ニトリ、カラーキネティクス・ジャパン

観覧料金:一般800円(700円)、大学生600円(500円)、高校生400円(300円)

* ()内は前売り・20名以上の団体料金。中学生以下無料

*障がい者とその介護者1名は無料。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ: <http://www.budda-tezuka.com>

4

4

特別展「予告」

法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌

法然と親鸞

ゆかりの名宝

10月25日(火)―12月4日(日) 平成館

平安末期の混迷する時代に、人々の救済のために念仏信仰をひろめた法然。その教えをうけて、実践的な活動と思想を展開した親鸞。鎌倉仏教を代表する二人の宗教者にスポットをあてた特別展を開催します。



三十余年の間、比叡山で学問・修行を続けた法然(一一三三―一二二二)は、中国の浄土僧善導の言葉に出会い、すべての人々を救うために阿弥陀の名号をとることをひろめました。鎌倉仏教の先駆者として、配流など数々

の困難を乗り越えながら、信念を貫き通した人物で、柔和な表情のなかに強靱な精神力が秘められています。その教えをうけた親鸞(一一七三―一二六二)は、当時二十九歳で、たとえ地獄におちようとも、法然の仰せを信じて念仏をすると決断しました。配流後、関東など各地で活動し、思想を深め、多くの著作を残しています。以後、法然と親鸞の教えは、門弟などによって受け継がれていきます。

この特別展は、法然と親鸞ゆかりの名宝を一堂に集めてその全体像をご紹介します。史上初の展覧会です。人柄や思想、波乱に富んだ生涯、周辺の人々との関わり、さらには信仰のひろがり、を示す国宝・重要文化財などとおして、二人の生き方やその魅力を探ります。

(高橋裕次)



法然上人八百回忌・親鸞聖人七百五十回忌
法然と親鸞 ゆかりの名宝

10月25日(火)～12月4日(日) 平成館

主催:東京国立博物館、NHK、NHKプロモーション、朝日新聞社

特別協力:知恩院、増上寺、金戒光明寺、知恩寺、清浄華院、善導寺、光明寺(鎌倉市)、善光寺大本願、光明寺(長岡京市)、禅林寺、誓願寺、遊行寺

西本願寺、京都 東本願寺、専修寺、佛光寺、興正寺、錦織寺、毫摂寺、誠照寺、専照寺、證誠寺

協賛:日本写真印刷、三井住友海上火災保険

観覧料金:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)

* ()内は前売り/20名以上の団体料金。中学生以下無料

* 障がい者とその介護者1名は無料です。入館の際に障がい者手帳などをご提示ください。

* 作品の一部に展示替えがあります。

お問合せ:ハローダイヤル 03-5777-8600

展覧会ホームページ: <http://www.honen-shinran.com>

①●阿弥陀二十五菩薩来迎図(早来迎) 鎌倉時代・14世紀 京都・知恩院蔵

山を越えて往生者を迎える光景は速度感に充ち、早来迎の名で呼ばれている。山間に咲く桜や滝の景も風情を添えています(10月25日～11月13日展示)

②●親鸞聖人画像(熊皮御影) 鎌倉時代・14世紀 奈良国立博物館蔵

熊皮とみられる獣毛を敷いた上置に座ることから「熊皮御影」と称される。濃くつりあがった眉や鋭い眼差しなど、親鸞聖人の特徴をよく伝えています(会期中2週間のみ展示)

③法然上人像(隆信御影) 鎌倉時代・14世紀 京都・知恩院蔵

法然の「往生要集」の講義に感激した後白河法皇が似絵の名人の藤原隆信に命じて描かせ、蓮華王院に納めたと伝えています(11月15日～12月4日展示)

5月17日(火)～6月26日(日)
本館特別1室

平成22年度 新収品展

平成22年度の新収品から3件の作品をご紹介します。

一休和尚 晩年の書

一休宗純墨跡 七言絶句「峯松」



一休宗純墨跡 七言絶句「峯松」一休宗純筆 室町時代・15世紀
波乱の生涯を送った一休の書

「一休さん」として有名な禅僧一休宗純(一三九四～一四八二)の書です。晩年に近い時期の筆と考えられます。著名な一休の頓知は後世の作り話ですが、歴史上の一休は、戦乱の拡大する室町時代後期の社会のなかで、政治権力や宗教的権威を厳しい言葉で批判するとともに、奇行や破戒を通じて自らが権威となることをも拒絶した、独自の思想を持つ人物でした。一休の行動が当時の人々に大変強い印象を与えたことは、さまざまな奇行を載せるその伝記や漢詩集『狂雲集』からも明らかです。その毒を含んだ鋭い言葉がよく取り上げられますが、この作品は、人里離れた峯に育つ松を中心にした壮大な新春の自然を率直に詠んでおり、一休のまた異なった側面を示しているようです。

(田良島哲)

王朝のみやびは武家の女性好み

振袖 鶺鴒色縮緬地秋草几帳模様

鶺鴒(けいり) 鳥の色のような優しい黄緑地に染めた縮緬のキモノには、腰上を遠景として松に桜の模様を、腰下を近景として菊・萩・藤袴といった秋草模様を白上げにしています。紅糸や金糸による刺繍が色を添えています。日本人が古くより愛でる春の桜と秋の秋草が入り乱れる風景模様は理想的な景色を表わしているといえるでしょう。ここには満開の桜の下に几帳が風に揺られ、御簾の脇に檜扇が意味ありげに置かれています。『源氏物語』の「花宴」を主題とした模様ではないでしょうか。つまり、檜扇は光源氏が朧月夜の君と取り交わした扇を表わしているようです。このように古典文芸を思わせる王朝風のみやびやかな模様は俗に「御所解」といわれ、武家女性のキモノの模様に好まれました。

(小山弓弦葉)



振袖 鶺鴒色縮緬地秋草几帳模様 江戸時代・19世紀 越谷市・松本家寄贈
武家屋敷の姫君が着たと考えられる振袖のキモノ

王女は二頭立ての馬車に 土偶 馬



土偶 馬 朝鮮 三国時代(新羅)・6世紀
馬の横の泥よけには線刻文様もある

馬 二頭の体は、実は一つのお碗のような形を粘土で作成り、これをたわめて形をひねり出したものです。並んだ二頭に渡しかけた布のようなもの表現されており、馬の顔や胸やお尻にはベルトのようなものがあります。破損して失われていますが、お尻には板のようなものが立てられた跡もあります。この馬には、人がまたがることができません。馬車を曳いていたのでしょうか。朝鮮三国の一つ、新羅では、6世紀後半から6世紀前半にかけて、人や動物の土偶が数多く作られました。この馬は6世紀初めごろの新羅の王子の墓・慶州金鈴塚の騎馬人物形土器と表情や表現、質感が似ているので、同じころのものでしょう。騎馬人物が王子の墓の副葬品なら、二頭立ての馬車は王女のものだったのかもしれない。

(白井克也)

7/20(水)
～8/28(日)

親と子のギャラリー

怖いけど気になる妖しの世界

博物館できもだめし 妖怪、化け物大集合



昔から、人でも動物でもない得体の知れない存在は「妖怪 お化け」と呼ばれ、科学や常識では説明がつかないことは妖怪たちの仕業とされました。人々は妖怪を恐れながらも、その不思議さに惹かれ語り継いできました。民話やマンガ、能や歌舞伎の演目にも登場する妖怪は、もしかしたら今も私たちのすぐそばにいるのかもしれない。

食器や家具、筆記道具などの日常品も百年経つと妖怪となり自ら意志を持ち、夜な夜な動き回ると言われています。江戸時代の「百鬼夜行」

という絵巻には手足の生えた傘や目鼻のある釜たちがぞろぞろと列を成して歩く姿が描かれています。

この夏の親と子のギャラリーでは「百鬼夜行」をはじめ、鎌倉時代の鬼のお面、天狗や河童の根付など、怖いけど気になる妖しの美術品を紹介します。

そういえば、猫も長く生きると尾が二つになり言葉話し、呪術を使うそうです。お宅の猫はどうですか？(神辺知加)



- 1 味噌擦鬼木彫根付 江戸時代・19世紀
- 2 骸骨木魚牙彫根付 明治時代・19世紀
- 3 天狗牙彫根付 江戸時代・19世紀
- 4 河童蛤角彫根付 江戸時代・19世紀

化物かるた 江戸時代・19世紀
かるたにも恐ろしい妖怪がたくさん



百物語化物屋敷の図 歌川国芳筆 江戸時代・19世紀
怪談を100話語り終えると、ほんとうに妖怪が現れるという伝説を描いた浮世絵

1000年後の未来に バトンタッチ!

保存と修理情報 5

荻原守衛の ブロンズ像完成

ブロンズ像を鑄込むときには、粘土の彫塑像から石膏像を作り、それを原型とします。東京国立博物館が所蔵する重要文化財の荻原守衛作「女」石膏像は、ブロンズ像鑄造用に作られた原型です。東京国立近代美術館が収蔵する「女」ブロンズ像は、この石膏像を用いて一九一〇年に山本安雲が鑄込んだ作品です。現在、「女」石膏像は、表面や内部の状態が極めて悪いため、展示を停止しています。展示を断念してから約十年が経ちました。そこで、東京藝術大学と共同でブロンズ像制作のプロジェクトを始めました。3次元デジタル計測と3次元デジタルプリンターを利用して石膏像から原寸大の合成樹脂の像を制作し、それを新たな鑄造用原型としました。荻原守衛没後百年の昨年の秋に念願のブロンズ像を完成させ、今年三月に正式に列品となりました。まもなく石膏像に替わりブロンズ像が展示室にお目見えします。(神庭信幸)



鑄造直後のブロンズ像

用いられた刀剣や甲冑などの武具に加えて、
武士の肖像画や書を展示します。

6/28 火 8/7 日

必見

書状 武田信玄筆

室町時代・天文22年(1553)
埼玉・陽雲寺蔵

武田信玄が信濃国侵攻に際して出した白筆
の手紙。全体から緊迫感が感じられます

本館 ⑤ 室
武士の装い
— 平安～江戸

本館 ④ 室
茶の美術

4

茶の美術

日本の伝統文化である
茶の湯のなかで育まれた
美術を紹介します。



7/12 火 10/2 日

必見

南京赤絵蓮鷺文手桶形茶器

景德鎮窯 明～清時代・17世紀
元は五客一組の向付で、割蓋を添え替
茶器に仕立てられています

4/19 火 7/10 日

必見

柿の蒂茶碗 銘 唐衣

朝鮮時代・16世紀
褐色の素地に釉が薄く掛けられ、
質朴な味わいをそなえています



術の流れ

江戸まで、
どる日本美術史



特別1室
企画展示

入口

本館 ①③ 室
日本美術のあけぼの
— 縄文・弥生・古墳

本館 ①② 室
仏教の興隆
— 飛鳥・奈良

本館 ② 室
国宝室

2

国宝室

絵画・書跡の名品を
ゆったりとした空間で
心静かに鑑賞していただく
ための展示室です。

5/31 火
7/10 日

必見



●和歌体十種 平安時代・11世紀
10世紀末から11世紀初めに成立した
歌論書の、現存最古の写本です

7/12 火 8/21 日

●宝簡集 巻第二

平安～南北朝時代・
12～14世紀
和歌山・金剛峯寺蔵

1 -1

日本美術のあけぼの — 縄文・弥生・古墳

日本美術の原点として縄文から
古墳時代の代表作品を紹介します。

5/10 火 11/6 日

さまざまな文様をもつ銅鐎に加えて、
各時代の代表作品を取り上げます。

●人形装飾付異形注口土器

縄文時代(後期)・前2000～前1000年
北海道北斗市茂辺地出土

前後に顔、左右に人形をあしらう、
ユニークな形の注口土器です



1 -2

仏教の興隆 — 飛鳥・奈良

飛鳥時代から奈良時代にかけての
仏像や経典など、古代の
仏教美術を紹介します。

5/10 火 6/26 日

必見

仏説宝雨經 奈良時代・
天平12年(740)

人々に幸福をもたらすという意味の
お経で、光明皇后の発願です



3 -1

仏教の美術 — 平安～室町

絵画、彫刻、書跡など、日本仏教美術の
多様で多彩な世界をご覧ください。

5/10 火 6/26 日

必見

●銅梅竹透釣燈籠

室町時代・
天文19年(1550)
梅の樹と竹の透文様が
美しい釣燈籠で、高い
技術を示しています

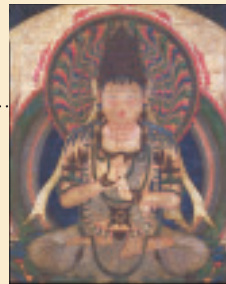


6/28 火 8/7 日

必見

●一字金輪像

鎌倉時代・13世紀
すっきりとした描線と
繊細な装飾が美しい
鎌倉仏画の逸品です



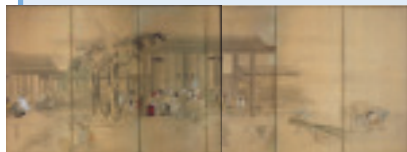
7

屏風と襖絵 — 安土桃山・江戸

大画面の作品から生み出される空間の広がりを感じとってください。

5/31 火 — 7/10 日

近世絵画のバリエーションの豊かさを示す3件を展示。



雨宿り図屏風 英一蝶筆 江戸時代・18世紀
にわか雨に見舞われた人々の表情を生き生きと表わした一蝶の代表作

7/12 火 — 8/21 日

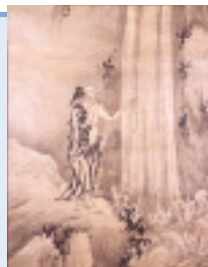
桃山絵画を代表する絵師である狩野永徳、永徳の子光信の高弟興以と、その興以に絵を学んだ江戸時代を代表する絵師探幽の作品を展示。8室と合わせて狩野派の絵画をそろえます。

◎許由巢父図

狩野永徳筆

安土桃山時代・16世紀

戦国の世を席巻した絵師・狩野永徳の神業ともいえる筆さばき



5

6

武士の装い — 平安～江戸

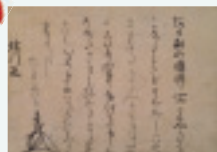
鎌倉時代から江戸時代までに

5/10 火 — 6/26 日

書状 足利尊氏筆

南北朝時代・文和元年(1352)

戦陣にいる尊氏から京都の息子義隆にあてた手紙。赤松則祐の所領安堵について依頼したもの



本館 6 室
武士の装い
— 平安～江戸

8 - 1

暮らしの調度

— 安土桃山・江戸

安土桃山から江戸時代に人々の身の回りを飾った調度や器を展示します。

4/19 火 — 7/3 日

季節に合わせ、春から初夏にちなんだ意匠の品々をご覧ください。

◎藤棚蒔絵書見台

江戸～明治時代・19世紀

藤棚の図柄に合わせて板の一部を透かし、支柱は竹をかたどるなど、斬新なデザイン



7/5 火 — 9/25 日

暑い季節、涼風を思い起こさせる水辺の意匠の品々をご覧ください。

◎青磁染付水車文大皿

鍋島 江戸時代・17～18世紀

個人蔵

染付の青海波文と青磁釉を交互に配し、水と空間の広がり表現しています



8 - 2

書画の展開

— 安土桃山・江戸

さまざまな表現で広がる豊かな視覚文化の時代を体感してください。

7/12 火 — 8/21 日

江戸時代前期狩野派の絵画作品に、福島正則など秀吉、家康ゆかりの人物の書跡を合わせて展示。

◎鶴鶴草葺不合尊降誕図

狩野探幽筆

江戸時代・17世紀

劇的な画面構成で描き出された日本の神話。江戸時代に生まれた新たな絵画スタイル

5/31 火 — 7/10 日

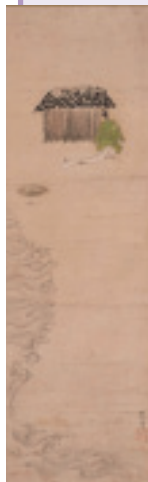
狩野派・琳派・円山四条派・文人画など近世の画派の広がりを出す絵画と江戸時代の僧侶の書をあわせて展示。

◎松樹寺図

田能村竹田筆

江戸時代・天保3年(1832)頃(部分)

淡い色調で描かれた爽やかな風が吹く情景



9

能と歌舞伎

室町時代～江戸時代に用いられた能面・能装束・歌舞伎衣装などを紹介します。

4/19 火 — 6/12 日

能面と能装束に見る、男性の風姿。さまざまな男性の役を演じ分ける際に用いられる面・装束を展示します。

◎法被 金地蜀江文錦

江戸時代・18世紀

壮麗な中国産の錦で製作された法被は武装を象徴しています



6/14 火 — 8/7 日

◎能「土蜘蛛」の面・装束を展示します。

厚板唐織 白地菊唐草模様

江戸時代・18世紀

唐織の技法を取り入れて華やかさを加味した男性役用の厚板



10

浮世絵と衣装 — 江戸

【浮世絵】

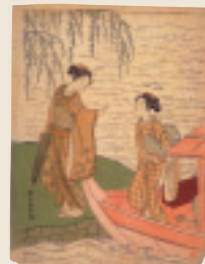
江戸時代の美人や風景を描いた版画と肉筆の浮世絵を展示します。

5/24 火 — 6/26 日

喜多川歌麿の美人画、葛飾北斎の花鳥図、歌川広重の初夏の江戸名所図を紹介。

6/28 火 — 7/24 日

懐月堂安度の肉筆画や、夏の季節にちなんだ作品を展示します。



◎舫い舟美人

鈴木春信筆

江戸時代・18世紀

柳の下での芸者が、春信らしく可憐に描かれています



◎娘日時計・巳ノ刻

喜多川歌麿筆

江戸時代・18世紀

歌麿美人画の代表作です

【衣装】小袖や髪飾り、印籠や根付など江戸時代のファッションに関する展示です。

4/19 火 — 6/12 日

春から初夏にかけて見られる風物をデザインしたキモノを展示。

◎小袖 白綾子地流水松藤模様

江戸時代・17世紀

松に藤花が垂れかかる情景を象徴的に表わしたデザイン



6/14 火 — 8/7 日

夏期用の帷子・単衣などのデザインから、江戸時代における涼しさの表現を紹介。

◎帷子 黒麻地氷に紅葉文字模様

江戸時代・18世紀

ひび割れた氷の模様を表わして、涼感を呼ぼうという機転をきかせたデザイン

7/26 火 — 8/21 日

溪斎英泉と歌川広重の合作になる「木曾街道六十九次之内」シリーズ70枚揃いを2回に分けて展示します。その第1回。



◎支路ノ駅・浦和宿

浅間山遠望

溪斎英泉筆 江戸時代・19世紀

噴煙を上げる浅間山が見えます

注目の特集

注目
唐式鏡から和鏡へ
特集陳列

「和鏡——鏡に表された文様の雅」

4月26日(火)～7月10日(日) ● 本館14室 歴史資料

古来鏡は、金属製が一般的でした。

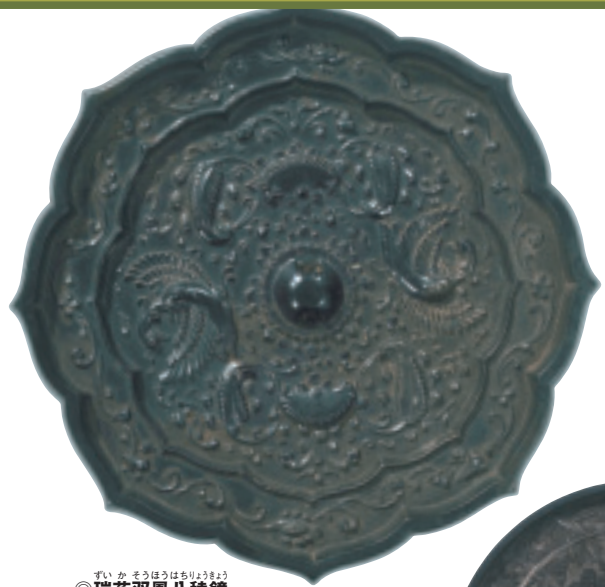
紀元前二世紀の弥生時代には、大陸から日本にも銅鏡が伝わり、古墳時代四世紀から奈良時代八世紀には、そうした舶載鏡を模倣した銅鏡が製作されました。銅鏡は、鏡面を磨いて像を映し、背面にはさまざま文様が鑄表されました。八世紀～十世紀は中国鏡を模して、めでたい花や鳥獣を旋回するように配したものが主流でしたが、表現はしだいに柔和となり、十一世紀以降は日本的な動植物や景物を表現するようになりま

す。銅鏡における日本独自の文様や形式の展開は、以後江戸時代まで続

き、これらを総称して、和鏡と呼んでいます。この特集陳列では、中国鏡を模倣した奈良時代・八世紀の「唐式鏡」からはじめて、平安～江戸時代までの和鏡を展示し、その形式的な移り変わりや、多彩な文様表現をご覧いただきます。

(伊藤信二)

*6月7日(火)14:00～14:30 列品解説
があります。(本誌12ページ参照)



◎瑞花双鳳八稜鏡

平安時代 11～12世紀

鳳凰・花をぐるりと配した文様や八稜の形。その元は中国鏡にありますが、次第に和様化していく過程で生まれた様式です



◎桐竹文鏡

安土桃山時代・天正16年(1588)
亀の鈕を中央に、桐と竹という日本のモチーフを配しています

印画紙に写る二つの時代

シリーズ古写真⑤

「江戸の残照・変貌する明治日本」

6月7日(火)～7月18日(月) ● 本館16室 歴史資料

一八三九年、フランス人ダゲール

によって発明された写真は、わずかな数年後には日本へ導入され、江戸から明治へと激しく変貌する時代の諸相を写し取りました。明治維新の前後に活動した写真師たちは東奔西走しながら、滅びゆく伝統的な情景と近代化する日本各地の姿を捉えてゆきました。今回は、明治初期の写

真師であった横山松三郎、内田九一

らの作品を展示します。寺院、神社、城郭、街道などに残された江戸時代の情趣と、官庁、工場、橋梁、灯台など、当時の人々の目を驚かせた数々の近代的施設との対比をじっくりとごらんください。(田良島哲)



相州箱根
(塔之沢)

明治時代・19世紀
外国人の保養地として
変貌を遂げる前の箱根
の風景

後漢の年号のある鉄刀の謎
特集陳列

「よみがえるヤマトの王墓——東大寺山古墳と謎の鉄刀——」

6月7日(火)～8月28日(日) ● 平成館企画展示室

東大寺山古墳は奈良県天理市に位置する全長一三〇mの前方後円墳で、後円部の埋葬施設から多数の副葬品が出土しました。大部分は当館の所蔵となり、重要文化財に指定されています。なかでも、後漢の年号「中平」(一八四～一九〇)の銘をもつ鉄刀は注目されます。列島最古の紀年銘をもつこの鉄刀は、いつ、誰が・どこで製作したのか、いつ倭国にもたらされたのかなど詳しいことはわかっていません。

この特集陳列は、平成十九～二十一年度に行なった、東大寺山古墳に関する、当館と天理大学附属天理参考館との共同研究の成果を展示するもので、天理参考館では昨年の秋に当館との共催で同名の展覧会が開催され、好評を博しました。今回はその東博版で、天理参考館との共催で行われます。東大寺山古墳出土品のほとんどを展示するほか、発掘調査の貴重な写真や図面なども展示いたします。(望月幹夫)

◎金象嵌銘花形飾環頭大刀

奈良県天理市東大寺山古墳出土
古墳時代・4世紀(刀身:中国製・2世紀)
「中平」の銘がある鉄刀。長さ110cm、
花形飾りの銅製柄頭がついています

*7月2日(土)14:00～15:30に金岡
恕氏(天理大学名誉教授・大阪府立弥生
文化博物館長)による記念講演会が、7
月26日(火)14:00～14:30には列品
解説があります。(本誌12ページ参照)



気になる この部屋・ この作品

本館 8 室 書画の展開

友への想いをこめて

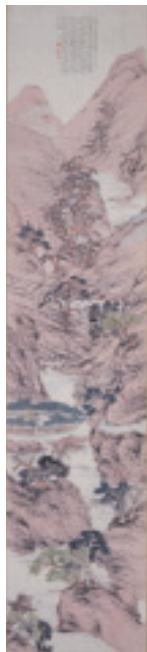
重文 松巖古寺図

田能村竹田筆

5月31日(火)～7月10日(日)

田能村竹田(一七七七～一八三五)は、豊後(大分県)岡藩出身の文人画家です。竹田は京坂地方や長崎などを遊歴し、多くの文化人と交流しながら詩書画を嗜む生活を送りました。この作品も当初は竹田のよき理解者であった頼山陽のために描いたものでしたが、天保三年(一八三二)に山陽が亡くなってしまったため、翌年、二人の共通の友人であった青木木米に贈られたことが賛に記されています。作品に込められたさまざまな想いを知ること、より深く絵を味わっていただけたら幸いです。(大橋美織)

◎松巖古寺図 田能村竹田筆
江戸時代・天保3年(1832)頃
鑑賞者の目を画面の上部へと誘う構図にも注目



本館 3 室 仏教の美術

仏像にも流行があった!

重文 銅造阿彌陀三尊像(善光寺式)

5月10日(火)～8月7日(日)

一つの光背に三尊がおさまる、中央の阿彌陀如来が左手第二、三指を伸ばしてほかの指を曲げる刀印を結び、両脇侍が両手を上下に重ねています。この姿は、善光寺式と呼ばれる形で、長野・善光寺の本尊の形に倣ったといわれます。善光寺本尊は絶対の秘仏で、確認できません。しかし、本館11室の最初のケースに展示(5/24～8/21)している六・七世紀に造られた阿彌陀三尊像に近いと考えられます。善光寺本尊は日本最古の仏像と信じられ、鎌倉時代に模造が大流行しました。(浅見龍介)



◎銅造阿彌陀三尊像(善光寺式)
鎌倉時代 13世紀 福島・いわき市蔵
像と同時期の光背が残る点が貴重。
いわき市如来寺伝来

本館 5 室 武士の装い

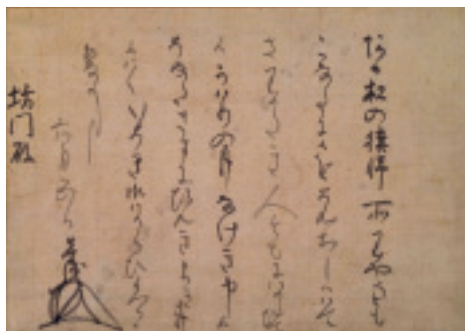
武將の手紙一通

書状 足利尊氏筆

5月10日(火)～6月26日(日)

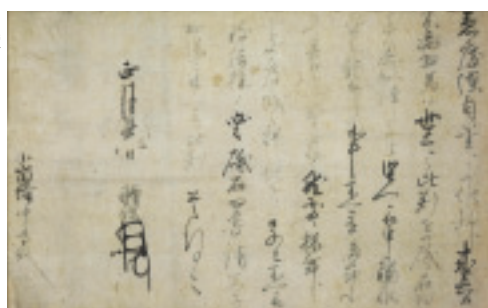
この書状は子の義詮に出した手紙。尊氏方として活躍した播磨国の守護大名赤松則祐の所領について、尊氏が別人に安堵してしまったため、その替わりの保障に関する処置を義詮に依頼しています。この手紙をしたためたとき、尊氏は鎌倉に出陣中、留守を預かる義詮は京都で室町幕府の政務を任されていました。親子間でやり取りであり、より略式な仮名で書かれています。

書状 足利尊氏筆 南北朝時代・
文和元年(1352) 1幅 紙本墨書
尊氏親子の気遣いがうかがわれる手紙



書状 武田信玄筆

6月28日(火)～8月7日(日)



書状 武田信玄筆 室町時代・
天文22年(1553) 1幅 紙本墨書
埼玉・陽雲寺蔵
見る者に緊迫感が伝わってきます

この書状は、甲斐国の戦国大名武田信玄が家臣の小山田昌行に出した自筆の手紙です。「世間でわが軍勢出陣の噂があるが、これは砥石城の普請の為であると触れ回れ。絶対に他国攻めの事を広めさせてはならない!」と厳命しています。信玄は信濃国の制圧を目指し盛んに軍事行動を起こしていました。軍事機密なため自筆で記しており、緊張が見て取れるような線の細い字が特徴的です。(高梨真行)

本館 10 室 浮世絵と衣装

涼さを演出する夏のきもの

帷子黒麻地氷に紅葉文字模様

6月14日(火)～8月7日(日)

麻地を単仕立にした夏の衣料である帷子。紅葉散らしの間に氷が割れる模様をデザインし、季節を先取りして涼感を誘おうという試みです。黒地に白上げと紅糸や金糸の刺繍で色を添えたシックなデザインは武家方の好みでしょう。前面肩部に「錦」「道」「成」背面肩部に「呉」「江」「波」「冷」の文字を大きく配し、漢詩を意匠化したと考えられます。蒸し暑い日本の夏をすごす武家女性の教養と質実なたたずまいを伝える一領です。(小山弓弦葉)



帷子 黒麻地氷に紅葉文字模様
江戸時代 18世紀
夏だからこそ涼しげに……氷を意匠化したデザイン

知る楽しみ、学ぶ喜び

講座・講演会・解説

講演会

関東大震災からの復興本館ものがたり
—国産技術に裏付けられた建築デザイン—

当館展示デザイナーと建築史研究の専門家が、本館のディテールを読み解きながら、帝室博物館建設の意義に迫ります。

日時：6月18日(土)13:30～15:00

講師：木下史青(デザイン室長)、加藤雅久氏(居住技術研究所)

ひみこ
卑弥呼女王の共立—東大寺山古墳の紀年銘鉄刀は語る

特集陳列「よみがえるヤマトの王墓—東大寺山古墳と謎の鉄刀」(6月7日(火)～8月28日(日) 平成館企画展示室)に関連した講演会です。(本誌10ページ参照)

日時：7月2日(土)14:00～15:30

講師：金閼恕(天理大学名誉教授・大阪府立弥生文化博物館館長)

共催：日本考古学会

うんけい
運慶 その造形と人物像

日時：7月30日(土)13:30～15:00

講師：浅見龍介(東洋室長)

特集陳列「運慶とその周辺の仏像」本館14室(7月12日(火)～10月2日(日))に関連した講演会です。運慶研究の現状と課題についてもわかりやすく解説します。

*開場は開始の30分前。いずれも会場は平成館大講堂、定員:380名(先着順)、聴講無料(ただし、当日の入館料は必要)

列品解説

東京国立博物館の研究員による展示解説です。

わ かたいじしゅ
国宝 和歌体十種

日時：5月31日(火)14:00～14:30 本館2室

講師：高橋裕次(博物館情報課長)

書かれている内容と料紙に見られる「飛雲」という技法についてお話します。

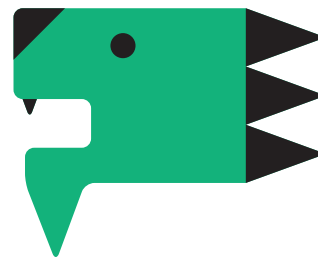
わ きょう
和鏡 日本で制作された銅鏡の文様と形

日時：6月7日(火)14:00～14:30 本館14室

講師：伊藤信二(教育普及室長)

奈良時代・8世紀から江戸時代・18世紀までの銅鏡をご覧いただきながら、多彩な文様表現や形状、その移り変わりについて解説します。(本誌10ページ参照)

教育普及事業



みどりのライオン

みんなで楽しむ教育スペース

EDUCATION CENTER 教学中心 교육센터

かつゆうかにはりつけたいつきはち
褐釉蟹貼付台付鉢をみる

日時：6月14日(火)

14:00～14:30 本館19室

講師：横山梓(特別展示室研究員)

初代宮川香山の代表作「褐釉蟹貼付台付鉢」(重文)を主題に、作品背景や帝室技芸員についてお話します。

◎褐釉蟹貼付台付鉢

初代宮川香山作 明治14年(1881)

まきえ
蒔絵の流れ

日時：6月28日(火)14:00～14:30 本館12室

講師：竹内奈美子(工芸室長)

展示されている作品を見ながら、蒔絵の歴史をたどります。

きよはらゆきのぶ かちようず
清原雪信花鳥図

日時：7月12日(火)14:00～14:30 本館8室

講師：小野真由美(出版企画室研究員)

狩野派随一の関秀画家である清原雪信についてお話します。

東大寺山古墳出土大刀群と金象嵌銘文の世界

日時：7月26日(火)14:00～14:30 平成館企画展示室

講師：古谷毅(列品管理課主任研究員)

多様な大刀装飾と象嵌銘文の意義(意味するもの)をご紹介します。(本誌10ページ参照)

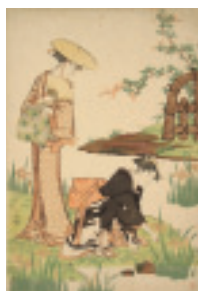
五感を使った美術体験

ワークショップ

おとなのためのワークショップ

季節のもようのお皿作り

あじさい はなしょうぶ はとる
紫陽花、入梅、花菖蒲、ゆすらうめ、蛍・雨宿り……これらはすべて、6月の季語です。日本人は古くから、こうした季節を感じさせるモチーフを、絵画、染織、やきものなどさまざまな作品にあらわしてきました。展示作品をじっくりと見て、作品や伝統的なもようをヒントに、季節を取り入れたお皿をデザインしてみよう。



菖蒲の池 鳥居清長筆
江戸時代・18世紀



雨宿り図屏風 英一蝶筆
江戸時代・18世紀(部分)

日時：①6月25日(土) 13:00～15:30

②6月26日(日) 13:00～15:30

会場：平成館小講堂

対象：一般(高校生以上)

定員：各回20名

(応募者多数の場合は抽選。一度の申し込みで2名までお申し込みいただけます)

参加費：無料(ただし、当日の入館料は必要です)

申込方法：往復はがき・FAX・電子メールのいずれかで ①参加者全員の氏名(ふりがな) ②代表者の郵便番号・住所 ③代表者の電話番号・FAX番号 ④参加希望日 を記入の上、下記申込先へお送りください。当館ウェブサイトからもお申し込みいただけます。

申込先：〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館 教育普及室「季節のお皿」係 FAX: 03-3822-3010 電子メール: edu@tnm.jp (件名に「〇月〇日(希望日) 季節のお皿」とご記入ください)

締切：①②ともに6月10日(金)必着

*当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、教育普及室に電話でお問合せください。

*2名でのご応募の場合、代表者にご連絡いたします。

*制作には、絵付け用のサインペンを使用します。

*作品は後日、焼成後のお渡しとなります(ご来館のうえでの渡し、もしくは着払いでの発送のどちらかをワークショップ当日にお選びいただきます)。

あなたの鑑賞をサポート

ボランティアによる事業

こどもたちのアートスタジオ

① 勾玉作り

ボランティアによる大人気の定番プログラムです。平成館考古展示室にある古代の勾玉を見学した後に、滑石を削って実際に勾玉を制作してみましょう。オリジナルの、自分だけの勾玉が作れますよ。できあがったものはお持ち帰りいただけます。

② 根付作り

本館10室にある根付を見学した後に、粘土を加工してオリジナルの根付を制作します。こちらもできあがったものはお持ち帰りいただけます。

日時：①7月3日(日)

②8月7日(日)

時間：13:30～15:30(120分)

場所：平成館小講堂

対象：小学校3年生から高校生

* 保護者の方の見学も可能です(但し当日の入館料が必要)



定員： 各日10名程度(応募者多数の場合は抽選)

申込方法： 往復はがきまたは当ウェブサイトの申し込みフォームで①参加者全員の氏名(ふりがな)とお子さんの学年、②郵便番号・住所、③電話番号(FAX番号)、④保護者が一緒の場合は「通信欄」にその人数を記入の上、下記申込先へお送りください。

* ご応募の際ご提供いただいた個人情報は、当該の目的のみ使用させていただきます。

締切： ①6月19日(日)、②7月25日(月)必着

* 当落に関わらず連絡いたします。実施日の3日前までに、受講可否の返答がない場合は、通信トラブルの可能性もありますので、ボランティア室に電話でお問合せください。

申込先： 〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9

東京国立博物館 ボランティア室

「7月3日勾玉作り」係または、「8月7日根付作り」係

制作工程模型展示

「国宝 孔雀明王像ができるまで」

6月14日(火)～8月21日(日) 本館20室・教育普及スペース

東京藝術大学学生ボランティアによる、制作工程模型を、通年にわたって展示しています。今回展示するのは、当館で所蔵する「国宝・孔雀明王像」を題材にして、「^{きりぎりす}截金」の技法を使った作品がどのような工程を経て作られたのかを紹介します。また制作に使用した材料や道具類もあわせて展示し、平安仏画制作のしくみをご覧ください。

盲学校のための
スクールプログラムスタート!

東京国立博物館では、視覚に障がいを持つ来館者のためのプログラムとして「盲学校のためのスクールプログラム」を開発しました。

視覚に障がいを持つ当事者、盲学校の教員、この分野で活動する研究者の方々のご指導・ご協力のもと、盲学校に通う児童生徒向けプログラムの開発、教材の作成、ボランティアスタッフの研修を進め、いよいよ平成23年度より学校団体の受け入れを始めました。受け入れ開始に先立ち、3月5日には盲学校の教員に向けた研修会も行いました。博物館からは具体的なプログラムのご紹介をし、同時に現場の先生方からは実際のアドバイスもいただきました。

本プログラムは、当館本館の縮尺模型や、日本の伝統模様を立体的にあらわした貝合せのゲームなどを使った「ハンズ・オン(手でさわる参加型の)アクティビティ」と、対話によるコミュニケーションの楽しさが主役の「展示室での作品鑑賞プログラム」、そしてコラージュやスタンプなどの「体験型ワークショッププログラム」の3つに大きく分けられます。

一人ひとりの児童生徒の興味やペースに合わせ、対話やハンズ・オン体験を通じたコミュニケーションを大切にする、きめ細かい対応が特徴のプログラムです。盲学校の先生方、ぜひご活用ください。

当館本館の模型をさわって、
ミニチュア館内探検!



盲学校のためのスクールプログラム

当館ウェブサイトからパンフレットをダウンロードできます

実施日時：火曜～金曜の開館日 10:00～17:00

(年末年始、ゴールデンウィーク期間を除く)

【コース】

- ④ トーハク探検(博物館の模型を使い、見学前に建築空間や展示作品、見学マナーなどを把握する)
- ⑤ 日本の模様・貝合せ(貝合せのゲームを通し、日本の伝統模様に親しむ)
- ⑥ トーハク・トーク・ツアー(展示室で作品や建物について対話をしながら鑑賞する)
- ⑦ 日本の模様でデザインしよう(コラージュやスタンプを使って制作する)

お問合せ：東京国立博物館教育普及室 03-3822-1111(代表)



さわって認識できる日本の伝統模様を、
貝合せゲームを通して学ぶ



ダマヤンティー姫の婿選びへ行く神々
グレート派 インド 18世紀後半
叙事詩「マハーバーラタ」の挿話を描いている。

第13室には、インド細密画のほかに、アジアの染織や、インドネシアのワヤンなど民族資料の展示が設けられます。

アジアの民族、宗教、文化の多様性が、これまで以上に実感されることでしょう。

(白井克也)

前回に引き続き、東洋館地下に新設される展示室を紹介いたします。

当館は平成十七年にインド細密画百九十三枚をまとめて購入しました。十五世紀末から十九世紀末まで、インド西部を中心に各地のものが網羅されています。以前の東洋館では、アジア染織のコーナーに少し間借りして、一部を公開したこともありましたが、新たな東洋館では、第13室にインド細密画専用のコーナーを設けました。保存上の問題から、九枚ずつの公開とはなりませんが、作品の間近に寄って細部まで観察していただけます。

東洋館

リニューアルオープンへの道 7

インド細密画の世界へ



イベント開催のお知らせ

〜クラリネットの響きが彩る午後のひと時〜 東京国立博物館 ファミリーコンサート

東京クラリネット・クワイアーが、クラリネットだけの珍しい編成でお届けする名曲の数々

日時：6月25日(土) ①13:00 ~ ②15:00 ~

会場：平成館大講堂

出演：演奏 東京クラリネット・クワイアー、指揮 稲垣征夫

曲目：「ウィーンの朝、昼、晩」序曲 F.v. スッペ / 作曲、
ワルツ「南国のぼら」 J. シュトラウスII世 / 作曲 ほか

料金：無料(ただし当日の入館料は必要) *事前予約不要 先着380名

主催：東京国立博物館 東京クラリネット・クワイアー

協賛：上野のれん会

*各イベントの詳細は、当館ホームページでご確認ください。

*お車でのご来館はご遠慮ください。

「第8回 台東区の伝統工芸職人展」のお知らせ

毎年好評の「台東区の伝統工芸職人展」。今年は秋に開催されることが決定しました。東京国立博物館のある台東区は、江戸文化が栄えた町として知られています。今年も、平成館にてさまざまな分野の職人による製作実演を行ないます。下町の歴史と風土のなかで育まれ受け継がれてきた、職人の本物の技と手づくりのぬくもりをご覧ください。

日時：11月1日(火) ~ 6日(日)

9:30 ~ 17:00

会場：東京国立博物館 平成館1階ラウンジ

料金：総合文化展料金でご覧いただけます。

主催：台東区

共催：東京国立博物館

協力：台東区伝統工芸振興会

台東伝統文化振興会

お問合せ：台東区役所 文化産業観光部

産業振興課 電話 03-5246-1131

第7回台東区の伝統工芸職人展
(2010年)の会場風景



新ウェブサイトのご案内

4月にリニューアルしたウェブサイトでは、春夏秋冬で絵柄が変わるカレンダー付スクリーンセーバーや季節のポストカード、ブログパーツなどのダウンロードサービスを行っています。

いずれも、当館の所蔵品をデザインしたものです。ぜひご利用くださいませ。

オリジナル
スクリーンセーバー



休館のお知らせ

6月21日(火)は、電気設備等保守点検のため、臨時休館いたします。

開館時間について

東日本大震災の影響で、開館時間が変則的になっています。

7月18日(月・祝)までは、特別展を開催している、していないに関わらず9:30 ~ 17:00、土・日曜、祝日は18:00まで開館します。「空海と密教の美術」展開催期間中(7月20日(水) ~ 9月25日(日))は、9:30 ~ 17:00、土・日、祝日は18:00まで、金曜は20:00まで開館する予定です。この夏は電力不足が懸念され、当館でもさまざまな節電対策を講じておりますが、やむを得ず開館時間を変更または短縮することがあります。ご来館の際は、当館ウェブサイト等でご確認のうえ、お出かけくださいませ。



「空海と密教美術」展 ご招待券プレゼント

本誌2ページで紹介した「空海と密教美術」展(7月20日(水) ~ 9月25日(日))のご招待券を、抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は7月9日(土)必着。

◎プレゼントの応募方法

はがきに住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、職業、ならびにこの号で一番面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館 広報室
「ニュース6・7月号」プレゼント係



東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・総合文化展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員の2種類があります。

◎年会費

特別会員 100万円以上

維持会員 法人 20万円

個人 5万円

◎主な特典

●特別展の内覧会にご招待

●東京国立博物館ニュースの送付

*賛助会員のお申し込みは随時受け付けております。

◎お問合せ

東京国立博物館総務部 賛助会担当
電話 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2011年4月27日現在

特別会員

日本電設工業 株式会社 様
株式会社 コア 様
株式会社 精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
毎日新聞社 様
株式会社 大林組 様
朝日新聞社 様
株式会社 ミロク情報サービス 様

読売新聞社 様
三菱商事 株式会社 様
凸版印刷 株式会社 様
フルガリジャパン 株式会社 様
財団法人 東芝国際交流財団 様
日本写真印刷 株式会社 様
日本ロレックス 株式会社 様

維持会員団体

TBS 様
株式会社 三冷社 様
株式会社 ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社 東京美術 様
株式会社 鶴屋吉信 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
松本建設 株式会社 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
株式会社 古美術数本 様
謙慎書道会 様
近代書道研究所 様
日本畜産興業 株式会社 様

株式会社 東京書芸館 様
インフォコム 株式会社 様
学校法人 大勝院学園 様
有限会社 システム設計 様
株式会社 小西美術工芸社 様
公和図書 株式会社 様
有限会社 ギャラリー竹柳堂 様
株式会社 育仲社 様
株式会社 モリサフ 様
香道千番会 様
アミ開発 有限会社 様
光村図書出版 株式会社 様

維持会員個人

渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
服部 禮次郎 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
高木 美華子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
中川 俊光 様
関谷 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
榎田 良豊 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
星 望 尚 様
久保 順子 様

川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
石川 公子 様
池田 慶子 様
青山 千代 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
野澤 智子 様
田中 望 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 泰一郎 様
秦 芳彦 様
杉原 健 様
木谷 順巳 様
高梨 兵左衛門 様

渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
堤 勝代 様
平井 千恵子 様
高谷 光宏 様
青山 道夫 様
高橋 静雄 様
田中 千秋 様
小西 峰也 様
澁谷 洋志 様
清川 勉 様
山下 照夫 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 達雄 様
坂詰 貴司 様
吉田 靖 様
松本 雅彦 様
片山 正紀 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様

折越 卓哉 様
渡辺 恭昌 様
細川 要子 様
錦織 伸一 様
鈴木 幸一 様
秋元 文子 様
土師 昭三 様
上塚 建次 様
鏡 賢志 様
山田 輝明 様
高久 真佐子 様
平山 利恵 様
井出 雪絵 様
佐藤 禎一 様
岡本 博司 様
岡本 恭子 様
田中 榮二 様
谷川 紀彦 様
山口 隆司 様
原 一之 様
会田 健一 様
桐畑 政義 様
相良 多恵子 様
熊谷 勝昌 様
鈴木 徹 様

今里 美幸 様
櫻井 恵 様
伊佐 健二 様
福井 一夫 様
軽部 由香 様
岡部 明美 様
東京西ロータリークラブ有志 様
酒井 弘文 様
木越 純 様
井上 保 様
田中 信 様
岡 靖子 様
古川 晴紀 様
菊地 昌之 様
鈴木 千壽 様
岩本 光雄 様
山本 隆幸 様
鈴木 春朝 様
山上 知子 様
名取 幸二 様
増岡 信義 様
要 英範 様
樽本 英信 様
ほか44名3社、順不同

TNM & TOPPAN ミュージアムシアター上演作品のお知らせ

◎VR作品「東大寺 大仏の世界」 ～ 6月26日(日)の金・土・日・祝日

奈良・東大寺「大仏」の姿を超高精細映像で再現しました。間近で見ることが出来ない顔や手、「大仏」からの視線など、VRならではの視点で「大仏」に接近し、華厳経の世界が描かれた蓮華座の美しい線刻画とともに、ナビゲータがわかりやすく解説をします。

*7月以降の上演作品に関しては、電力状況により未定です。最新の情報は当館ウェブサイトにてお知らせします。

●10:00, 11:00, 12:00, 14:00,
15:00, 16:00 上演 各回30名

*当日予約制 上演開始10分前までに
本館1階エントランスにて受付



VR作品「東大寺 大仏の世界」より

考古展示室の埴輪コーナーで 電子ペーパーによる解説の試行運用中です

平成館考古展示室には、長方形と前方後円墳形の埴輪用展示台がありますが、3月29日(火)から、コーナー解説の表示が電子ペーパー(紙のような感覚で利用できる、柔らかい素材の極薄の表示装置)を利用したものになりました。

日本語の部分は印刷されています。外国語の部分も、一見すると印刷のように見えますが、一定の時間ごとに表示が切り替わります。今年から本館のコーナー解説を4言語化しましたが、4言語化をさらに進めるための新技術の実験です。ぜひ展示室でご体験ください。



考古展示室に設置された電子ペーパーによる解説パネル
画像提供:凸版印刷株式会社

東日本大震災義援金について

東日本大震災で被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。東京国立博物館は、東日本大震災において被災者された方々の支援のため、3月29日(火)より4月3日(日)までの入館料及び当館に設置しました義援金箱にいた

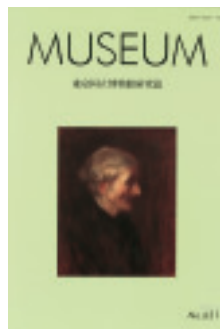
だきました御厚志を、日本赤十字社に寄附いたしました。

この期間は、開館時間を10:00～16:00へと短縮し、本館と平成館に限っての開館とさせていただきますでしたが、入館料と義援金箱への寄附を合わせて1,686,038円を寄附することができました。この場をお借りしまして、御支援いただきました皆様方に心から感謝申し上げます。

文化財レスキュー事業費に対する義援金について

東京国立博物館は、東日本大震災で被害を受けた文化財の緊急保護や散逸防止などのために文化庁長官が提唱した文化財レスキュー事業に協力します。館内に義援金箱を設置しておりますので、皆様のご支援をお寄せいただけますようお願い申し上げます。

MUSEUM631号(2011年4月15日発行)の掲載論文



- ①「江戸時代における古筆鑑賞の普及と展開—『丹鶴図譜』の「岡寺切」を発端として—」
恵美千鶴子
- ②「東京国立博物館および東京藝術大学による油彩画の共同研究(一)—東京国立博物館蔵原撫松筆《老婆》《影の自画像》の光学調査—」
神庭信幸・木島隆康・土屋裕子・鈴嶋富士子・中安知佳
- ③「『調査報告』木挽町狩野家伝来〈法隆寺什物図〉」
安藤香織

国立博物館の展示案内

〈京都国立博物館〉

特別展「百獣の楽園—美術にすむ動物たち—」
7月16日(土)～8月28日(日)

〈奈良国立博物館〉

特別展「天竺へ～三蔵法師3万キロの旅」
7月16日(土)～8月28日(日)

〈九州国立博物館〉

特別展「よみがえる国宝—守り伝える日本の美」
6月28日(火)～8月28日(日)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般4,000円 学生2,500円
発行日から1年間有効

【特典】東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の総合文化展・平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館・奈良国立博物館の平常展示館、東京国立博物館東洋館など一部展示館を閉館しています。

◎お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ウェブサイト

【郵便振替でのお申し込み】

- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・職業・年齢・性別・メールアドレスを楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートが届くまで保管しておいてください
- 振替手数料はお客様の負担となります
- ご入金確認日より会員証、パスポートがお手元に届くまで2週間程かかります

友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
口座番号 00160-6-406616

パスポート

加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
口座番号 00140-1-668060
●振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください

◎お問合せ

TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内

本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◎お申し込みは郵便振替で

- 加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
口座番号 00100-2-388101
- 振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書で記入ください
- 振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておいてください
- 振替手数料はお客様のご負担となります
- 次号より送付ご希望の場合、締切は2011年7月10日まで

東京国立博物館メールマガジンのご案内

特別展・各種催し・展示替・ウェブサイト更新などの情報をいち早くお届けします

●ご登録は <http://www.tnm.jp/> から

東京国立博物館利用案内

開館時間 9:30～17:00

2011年4月～9月の土日祝休日は18:00まで開館(入館は閉館の30分前まで)

休館日 原則として月曜日(祝日・休日にあたる場合は開館、翌火曜日休館)、年末年始。2011年6月21日(火)は臨時休館日です。2011年6月6日(月)は開館します

総合文化展観覧料金

一般600(500)円、大学生400(300)円

- ()内は20名以上の団体料金
- 障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
- 満70歳以上、高校生以下および18歳未満の方の総合文化展観覧料金は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします

2011・6

東京国立博物館 2011年6月・7月の展示・催し物

2011・7

1 WED		
2 THU		
3 FRI	法 15:00	
4 SAT	時間延長(18:00まで) 記念講演会「能と仏教」13:30 平成館大講堂*1 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 陶 14:30 法 15:00	 
5 SUN	時間延長(18:00まで) 浮 14:00 考 14:30	
6 MON		
7 TUE	列品解説「和鏡 日本で制作された銅鏡の文様と形」14:00 本館 14 室 建 13:00	
8 WED	樹 13:30 浮 14:00	
9 THU	本 14:00 庭 14:00	
10 FRI	考 14:30	
11 SAT	時間延長(18:00まで) 陶 14:30	
12 SUN	時間延長(18:00まで) 彫 11:00 英 13:00  特別展「写楽」	
13 MON	休館日	
14 TUE	列品解説「褐釉蟹貼付台付鉢をみる」14:00 本館 19 室	
15 WED		
16 THU	彫 15:00	
17 FRI	法 15:00	
18 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「関東大震災からの復興本館ものがたり」13:30 平成館大講堂*2 建 11:00(手話通訳付き) 樹 13:30 本 14:00 法 15:00	 
19 SUN	時間延長(18:00まで) 茶 12:30, 14:00 浮 14:00	
20 MON	休館日	
21 TUE	休館日	
22 WED	樹 13:30	
23 THU	英 13:00 本 14:00	
24 FRI	考 14:30	
25 SAT	時間延長(18:00まで) ワークショップ「季節のもようのお皿作り」13:00 平成館小講堂*3 ヲファミリーコンサート 13:00, 15:00	 
26 SUN	時間延長(18:00まで) ワークショップ「季節のもようのお皿作り」13:00 特別展「手塚治虫のブタ展」 平成館小講堂*3 彫 11:00 英 13:00 庭 14:00 浮 14:00  平成 22 年度新収品	
27 MON	休館日	
28 TUE	列品解説「蒔絵の流れ」14:00 本館 12 室	
29 WED		
30 THU		

*1 特別展「手塚治虫のブタ展」関連事業、事前申込制。詳細は前号 6 ページをご覧ください。*2 詳細は本誌 12 ページをご覧ください。*3 詳細は本誌 12 ページをご覧ください。*4 詳細は本誌 14 ページをご覧ください。*5 特別展「空海と密教美術展」関連事業、事前申込制。詳細は本誌 3 ページをご覧ください。
*上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください。
*屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります。

1 FRI	法 15:00
2 SAT	時間延長(18:00まで) 講演会「卑弥呼女王の共立」14:00 平成館大講堂*2 建 11:00 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
3 SUN	時間延長(18:00まで) 作 13:30 考 14:30
4 MON	休館日
5 TUE	建 13:00
6 WED	
7 THU	庭 14:00
8 FRI	考 14:30
9 SAT	時間延長(18:00まで) 陶 14:30
10 SUN	時間延長(18:00まで) 平成館大講堂*4 彫 11:00 英 13:00 浮 14:00
11 MON	休館日
12 TUE	列品解説「清原雪信花鳥図」14:00 本館 8 室
13 WED	樹 13:30 浮 14:00
14 THU	本 14:00 彫 15:00
15 FRI	法 15:00
16 SAT	時間延長(18:00まで) 建 11:00(手話通訳付き) 樹 13:30 本 14:00 法 15:00
17 SUN	時間延長(18:00まで) 茶 12:30, 14:00 浮 14:00
18 MON	時間延長(18:00まで)
19 TUE	休館日
20 WED	「空海と密教美術」展 親子のギャラリー「博物館できもだめし」
21 THU	
22 FRI	時間延長(20:00まで) 考 14:30
23 SAT	時間延長(18:00まで) 陶 14:30
24 SUN	時間延長(18:00まで) 記念講演会「密教美術の醍醐味」13:30 平成館大講堂*5 彫 11:00 英 13:00 庭 14:00 浮 14:00
25 MON	休館日
26 TUE	列品解説「東大寺山古墳出土大刀群と金象嵌銘文の世界」 14:00 平成館企画展示室
27 WED	樹 13:30
28 THU	英 13:00 本 14:00
29 FRI	時間延長(20:00まで) 法 15:00
30 SAT	時間延長(18:00まで) 月例講演会「運慶 その造形と人物像」13:30 平成館大講堂*2 建 11:00 法 15:00
31 SUN	時間延長(18:00まで) 記念講演会「弘法大師と仁和寺-阿弥陀仏について-」神護寺創成期の歴史- 弘法大師空海と伝教大師最澄の交友と訣別- 13:00 平成館大講堂 *5

(8/28まで) (9/25まで)

本＝ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所：本館 1 階エントランス
浮＝ボランティアによる浮世絵ガイド、集合場所：本館 1 階エントランス
陶＝ボランティアによる陶磁ガイド、集合場所：本館 1 階エントランス
彫＝ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所：本館 1 階エントランス
樹＝ボランティアによる樹木ツアー、集合場所：本館 1 階エントランス
考＝ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所：平成館考古展示室入口
法＝ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所：法隆寺宝物館 1 階エントランス
英＝ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所：本館 1 階エントランス
建＝ボランティアによるたてもの散歩ツアー、集合場所：本館 1 階エントランス

茶＝ボランティアによる茶会、集合場所：本館 1 階エントランス
(参加費 500 円、先着 30 名、開始 30 分前に集合場所まで整理券配布)
庭＝ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所：本館 1 階エントランス
(先着 20 名、開始 30 分前に集合場所まで整理券配布)
作＝ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ
(勾玉作りコース、抽選、詳細は 13 ページをご覧ください)
＝黒田記念館開館日、木曜・土曜 13:00～16:00(但し 6/30～9/3 は夏期休館)
＝ミュージアムシアター「東大寺 大仏の世界」(6 月)上映
10:00, 11:00, 12:00, 14:00, 15:00, 16:00 各回 30 名、集合場所：本館 1 階エントランス
(詳細は本誌 15 ページをご覧ください)